

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 心のバリアフリー先進地を目指して、主要観光地までの二次交通や障がい者でも楽しめる観光体験コンテンツの創出、独居世帯の支援
- 人出不足や担い手不足、行政負担増を解消するための未来技術の活用
- 移住や定住を促す、新たな産業や業態、雇用を創出する環境づくり

将来像

- 「やさしい風土に磨きをかけ、誰もが笑顔で活躍できるまち」をコンセプトに“バリアフリー首都”を目指す
- 地域の魅力を高め、人口の流出を抑えるとともに、交流人口や関係人口の増加が新たな移住、定住を呼び込むまちづくり

推進体制

地方公共団体
中能登町

民間事業者
NPO北陸地域活性化協議会
・株式会社情報研究所

中能登町
未来技術
地域実装協議会

伴走型支援

大学
石川高等専門学校

国
内閣府・総務省・
文部科学省・経済産業省・
国土交通省・環境省

現地支援責任者
(内閣府地方創生推進事務局)

課題解決に向けた取組

観光ガイド支援事業、伝統技術の継承と
観光産業化事業、持続可能なグリーンスローモビリティ事業

観光ガイド支援事業

- ・ 山岳信仰・戦乱の再現体験映像撮影
- ・ AI・ARによる史実の正しい説明やお薦めルートの提案
- ・ ARやホログラムを活用した歴史キャラのコンシェルジュ

伝統技術の継承と観光産業化事業

- ・ AIやロボットによる高齢者の手織りの負担軽減と伝統技術の継承
- ・ ロボットと基幹産業「織物」を活用して観光産業化

持続可能なグリーンスローモビリティ事業

- ・ 主要観光地の二次交通の一手となる電気自動車による移動サービスの実装

2022年度の
主な取組

- 情報通信月間に併せ、環境センサーと組み合わせたIoT案山子の取組みや講演会を実施
- 石川工業専門学校と連携して、地域ポイント実証実験を実施
- デジタル活用支援員を活用したスマホ教室やマイナンバーカードやマイナポイントの制度PRなど
- 地域経済活性化のため民間と連携したキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施
- 未来技術社会実装の市民アイデアソン及びデジタル推進委員養成のためのデジタルアカデミーを開校

取組内容

(写真：中能登町提供)

IoT案山子体験実証実験・ワークショップ (2022年6月の情報通信月間に併せて実施)



- 久江の久氏比古神社に祀られている「案山子の神様」のストーリー性を活かし、最先端のIoT環境センサーを搭載した案山子を制作し、農業の生産性向上や雨量や風力等の情報収集をすることで、農業DXを推進するとともに、「かかしの郷プロジェクト」という案山子の地域おこしも組み合わせることで、地域おこし、防災・災害対応力の相乗的効果の向上にもつなげる。

【日時】2022年6月12日（土）※総務省の情報通信月間に併せて事業推進

【場所】旧久江小学校ほか久江地内 ※参加者20名

【内容】かかしの郷プロジェクト紹介

農業DX講演会「農業DXは地域を変える」株式会社farmo 永井洋志 氏

IoTカカシのワークショップ（現地でアプリなどで機能確認）

【効果】地域おこし×農業DX×誘客の相乗的効果が図ることができた

(写真：中能登町久江地内の水田にて設置)
カカシの町おこしとDXを掛け合わせる

➤ ※日本農業新聞にも紹介される。



(写真：現地で記念撮影風景)
多くの観光客誘客にもつなげる



取組内容

(写真：中能登町提供)

石川工業専門学校と連携した地域ポイントアプリ及びイベント実証事業 (2022年8月、11月)



➤ 町内観光の創出と町内消費活性化のためのデジタル地域ポイントアプリケーション「うぐいす」の制作およびイベントの実施

【想定】町内の親子がアプリで楽しく地域を知り、アプリで獲得できるポイントを活用して町内の消費活性化につなげることができるかの実証

【アプリ】町の鳥「うぐいす」 ※石川工業専門学校の学生が制作 (Webアプリ)

【イベント】

第1回目 中能登町デジタル地域ポイント「うぐいす」

2022年8月1日から8月19日まで 道の駅織姫の里なかのと道の駅内の特産品をさがしてポイント獲得 ※親子30人が参加

第2回目 クエクエスト

2022年11月13日 旧久江小学校
廃校となった学校を活用して、ご当地の謎解きゲームをアプリで体験しゴールまでたどりつくと商品券が景品でもらえる。 ※70名参加

獲得したポイントを活用して地元店舗の利用促進にも寄与
(4店舗で連携)



取組内容

(写真：中能登町提供)

官民協働事業 中能登町デジタルサイネージ設置検証事業 (2022年8月～)

- デジタルトランスフォーメーション社会へ 官民協働事業で情報発信を検証
中能登町の道の駅織姫の里なかのとの来場者に、行政情報や地域情報など魅力的な情報を官民協働で発信

【官民協働】中能登町×株式会社サイネックス×中能登町観光協会で
3社で連携協定(2022年4月1日から2027年3月31日まで)

【設置機器】デジタルサイネージ機器 50インチディスプレイ 2台

【運用】町で運用要領を設け、定期的に情報発信に努めるしくみを構築

【効果】道の駅の新たな情報発信ツールとして情報発信DXに寄与する
乱立するポスターなどの張り紙告知をデジタルデータ告知に移行できた

【掲載実績】行政情報 30コンテンツ 観光情報 50コンテンツ



取組内容

(写真：中能登町提供)

中能登町キャッシュレス決済還元事業ほかマイナポイント普及相談会

(2022年8月～2023年2月、2022年11月～12月)



中能登町
PayPay
PayPayで中能登町のお店で買い物 最大20%戻ってくるキャンペーン
対象店舗でPayPayでお支払いすると
PayPayポイント
最大
20%
戻ってくる
付与上限
3,000ポイント/日、20,000ポイント/期間
PayPayアプリの
QRコードを
スキャン



マイナンバーカードで
マイナポイント
最大20,000円分の
マイナポイントがもらえる！
第2弾
マイナポイント
マイナポイント設定支援相談会
※マイナンバーカードの交付はしていません。
8月21日(日) 10:00～15:00 平和堂(アル・プラザ鹿島)
8月27日(土) 10:00～13:00 道の駅 織姫の里なかのど
9月24日(土) 10:00～13:00 道の駅 織姫の里なかのど
9月25日(日) 10:00～15:00 平和堂(アル・プラザ鹿島)
平日も対応
しております
8:30～17:00 総務庁舎 企画課
9:00～17:00 行政サービス庁舎
マイナカード
マイナカード申請相談会
9月3日(土) 9:00～15:00 ラピア鹿島ミュージアムホール
お持ちいただくもの
①通知カード
②本人確認書類
③本人確認書類
④マイナカード交付申請書
⑤マイナカード交付申請書
⑥マイナカード交付申請書
⑦マイナカード交付申請書
⑧マイナカード交付申請書
⑨マイナカード交付申請書
⑩マイナカード交付申請書
⑪マイナカード交付申請書
⑫マイナカード交付申請書
⑬マイナカード交付申請書
⑭マイナカード交付申請書
⑮マイナカード交付申請書
⑯マイナカード交付申請書
⑰マイナカード交付申請書
⑱マイナカード交付申請書
⑲マイナカード交付申請書
⑳マイナカード交付申請書
㉑マイナカード交付申請書
㉒マイナカード交付申請書
㉓マイナカード交付申請書
㉔マイナカード交付申請書
㉕マイナカード交付申請書
㉖マイナカード交付申請書
㉗マイナカード交付申請書
㉘マイナカード交付申請書
㉙マイナカード交付申請書
㉚マイナカード交付申請書
㉛マイナカード交付申請書
㉜マイナカード交付申請書
㉝マイナカード交付申請書
㉞マイナカード交付申請書
㉟マイナカード交付申請書
㊱マイナカード交付申請書
㊲マイナカード交付申請書
㊳マイナカード交付申請書
㊴マイナカード交付申請書
㊵マイナカード交付申請書
㊶マイナカード交付申請書
㊷マイナカード交付申請書
㊸マイナカード交付申請書
㊹マイナカード交付申請書
㊺マイナカード交付申請書
㊻マイナカード交付申請書
㊼マイナカード交付申請書
㊽マイナカード交付申請書
㊾マイナカード交付申請書
㊿マイナカード交付申請書

➤地域のキャッシュレス化を加速化

【事業】中能登町キャッシュレス決済還元事業 ※店舗140店舗

【期間】2022年11月～12月

【効果】約9億円の地域経済活性化効果。

アンケートにて登録店舗の75%が売上増につながったと回答
地域のキャッシュレス化が加速（買い物風景が様変わり）

➤マイナカード普及促進に向けた相談会の実施

【事業】マイナポイント相談会

【相談会】2022年8月～2023年2月 計10回

【交付率】68.1%（2023年1月15日報告データ参照）

※44.0%（2022年5月15日データ） 24.1%増

※キャッシュレス決済事業と組み合わせて実施したことで、地域経済の活性化
とマイナカード普及促進の両輪で効果向上

取組内容

(写真：中能登町提供)

デジタル活用支援員を活用したアカデミー創設に向けたプログラム実証 (2022年9月22日、10月10日、10月27日)

➤ スマホで快適生活相談会プログラム実証

(古民家みおやの里) ※町民対象 【主催】中能登町デジタル活用協議会

2020年度に実施した総務省のデジタル活用支援員の地域実証事業で育成した活用支援員を軸に、スマホやマイナンバーカードの有効性やキャッシュレス決済アプリ、防災アプリなどを3回シリーズで開催した

【想定】デジタル活用支援員の支援活動の広がりや町内のデジタル格差の是正につなげる

【効果】デジタルリテラシーの獲得

【参加者】30名 支援員 7名参加

➤ 9月22日 スマホ操作・LINEトーク・通話・マイナンバーカード

10月10日 デジタルの日、インターネット・アプリインストール・LINE便利機能・Yahoo防災

10月27日 メール使い方・地図アプリ・キャッシュレス決済・マイナーポータル

➤ 今後 町独自のデジタルリテラシーを学べるアカデミーを創設し、支援員確保につなげる



デジタルでもだれ一人取り残さない

スマホに挑戦！ 参加無料

よくわかるスマホ教室

第1講座 9/22 (木) 第2講座 10/10 (月・祝日) 第3講座 10/27 (木)

すべての日程を受講することが条件だよ

日程	第1講座 9月22日 (木)	第2講座 10月10日 (月)	第3講座 10月27日 (木)
時間帯 (2時間)	① 10:00~12:00 ② 14:00~16:00 ③ 17:00~19:00	① 10:00~12:00 ② 14:00~16:00 ③ 17:00~19:00	① 10:00~12:00 ② 14:00~16:00 ③ 17:00~19:00
主な内容	電話の入れ方 LINE・通話 マイナンバーカード	インターネット アプリインストール LINE便利機能 Yahoo防災	メール使い方 地図アプリ キャッシュレス決済 マイナーポータル

▶ 定員 第1～第3講座を同じ時間帯で参加できる方で、各講座(1～3)10名まで(先着)
▶ 会場 古民家みおやの里(小田中ムロ 103番地)
▶ 締切 9月9日(金)まで
▶ 持参物 ご自身のスマホ
▶ その他 参加後のアンケートにご協力願います

令和4年度利用者向けデジタル活用支援推進事業
主催 中能登町デジタル活用協議会(中能登町役場総務庁舎企画課内)
申込・お問合せ ☎ 0767-74-2806

取組内容

(写真：中能登町提供)

未来技術社会実装の市民アイデアソン及びデジタル推進委員養成講座の実施（2022年11月、12月）



(目的) 中能登町において未来技術が解決する課題を洗い出しイノベーションで創出される新しい価値を見出す

➤ 未来技術社会実装 セミナー ※15名参加

2022年11月24日 第1回セミナー

- 高齢者の見守り「安心安全な見守り環境の実現に向けて」
- 能登上布の継承問題「能登上布の技術継承に向けて」
- 農業DX「農業DXの実現に向けて」

DXアドバイザー 金平勲氏 機器メーカー いしかわ農業総合支援機構

➤ 未来技術社会実装 ワーキング ※5名参加

2022年12月 2日 第1回ワーキング

- セミナーでの課題をもとに「アイデアソン」実施 ※アイデアソン：アイデア×マラソン
- DXアドバイザー 福島健一郎氏（総務省情報化アドバイザー）

令和4年度 中能登町 障がい攻略DX推進 デジタルアカデミー事業

**新デジタル
推進委員
養成講座**

前向きに、自分を町を変えよう！



令和4年度
定員 10名
参加費無料

申込締切：令和5年2月2日(木)正午迄
※申し込みは、中能登町企画課までお電話(74-2806)
または上記URL、またはMAILでお申し込み下さい。

人材発掘・育成事業

- CODE FOR KANAZAWA 代表でアカデミー校長の福島健一郎です。
- 事業の目的は...
デジタル推進委員の発掘育成を行うとともに、町いしを育成するためのデジタル推進委員の養成をめざします。
- 対象となる方は...
・中能登町に居住または就業の方
・意思決定にリアル参加可能な方
・協力を共有して、3年間継続して活動できる方
- 第1回 令和5年2月3日(金)9時
講演「DXとは何か？」
講師 福島 健一郎
場所 ふるさと創生館（一宮一宮19番地1）
- 第2回 令和5年2月2日(木)19時
実習「ノーコードプログラム」
講師 福島 健一郎
- 第3回 令和5年3月20日(日)
講演「町民皆アーティスト」
講師 吉田 裕太郎 10Z 代表取締役社長



【お問い合わせ・申込先】 中能登町企画課 デジタルアカデミー事業係 0767-74-2806

アカデミーを開校し、DX人材を育成

